

池子塾 池子の森を守る連続セミナー

[全 5 回 9/27 - 12/11]

池子の森は首都圏に残された大規模な緑地（約 290ha）であり、横浜・鎌倉から三浦半島に広がる森の架け橋です。多摩丘陵からつらなる「いるか丘陵」と言われるグリーンベルトの欠かせない緑地となっており、多様な植生があり、自然の宝庫です。このまま、後世に引き継ぎたい大切な自然の博物館です。

昨年、この池子の森の横浜地域側（37ha）に 4 か所の市内米軍基地返還と引き替えに米軍住宅を 800 戸増設すると日米両政府は発表しました。もし、米軍住宅増設を許せば、緑地が大幅に減少し、生態系が破壊され、生物多様性は失われてしまうでしょう。

私たちは、毎月「池子の森自然観察会」を開催してきました。自然観察会の中で希少種であるハヤブサの飛び姿を見、身近に鳥たちの鳴き声を聴き、原生林に推移しつつある姿を訪れるたびに、豊かな森であることが基地周辺を歩いて実感できました。

これまで、市議会は政府への基地返還要望の重点要望の第 1 に池子基地を掲げ、接収地返還促進金沢区民協議会が 30 年にわたり国に返還陳情をおこない、環境保護関係者が連名で池子の森を守るよう要望してきました。基地周辺の地元連合町内会からも、米軍住宅増設反対の陳情が横浜市に出されています。

「池子の森を守ろう！」はみんなの願いです。2004 年 7 月 31 日（土）にはシンポジウムを開催し、約 130 人の横浜・逗子の市民の参加があり、また各新聞にも報道され大きな反響がありました。さらに世論を大きくするために、『池子塾：池子の森を守る連続セミナー』を開催します。ぜひ、ご参加をお願いします。

[連続セミナーの日程と概要]

(回、開催日時、講師(所属・交渉中)、テーマ(仮))

第 1 回 9 月 27 日 (月) 18:30-20:30

沢光代 (元逗子市長・関東学院大学非常勤講師)

池子地区米軍住宅追加建設は 3 者合意への契約違反」

第 2 回 10 月 18 日 (月) 18:30-20:30

神保賢一路 (神奈川県鳥獣保護観察指導員)

生態学から見た『池子の森』の重要性」

第 3 回 11 月 8 日 (月) 18:30-20:30

呉東正彦 (弁護士・原子力空母の横須賀母港問題を

考える市民の会代表)

原子力空母母港化問題から見た

池子地区米軍住宅追加建設問題の意味」

第 4 回 11 月 22 日 (月) 18:30-20:30

鳴海正泰 (関東学院大学名誉教授)

池子地区米軍住宅追加建設問題における
市民自治の役割」

第 5 回 12 月 11 日 (土) 13:00-16:00

総括シンポジウム (講師全員他)

コーディネーター：

安田八十五 (関東学院大学経済学部教授)

サブ・コーディネーター：

山根徹也 (横浜市立大学国際文化学部助教授)

会 場：第 1-4 回=横浜市立大学金沢八景キャンパス

本館 2 階 204 教室 (京急金沢八景駅下車徒歩 5 分)

第 5 回 =関東学院大学関内メディアセンター 8 階 803 教室

(JR 根岸線関内駅徒歩 10 分、みなとみらい線馬車道駅または日本大通り駅各 5 分)

主 催：米軍住宅増設をやめさせ、基地返還と池子の森を守る会

共 催：関東学院大学経済経営研究所横浜論研究プロジェクト

参加費：無料 (ただし資料代は必要)

連絡先：

TEL045-241-0005 (事務局) / TEL045-786-9802 (安田)

<http://home.kanto-gakuin.ac.jp/~yasuda85/>